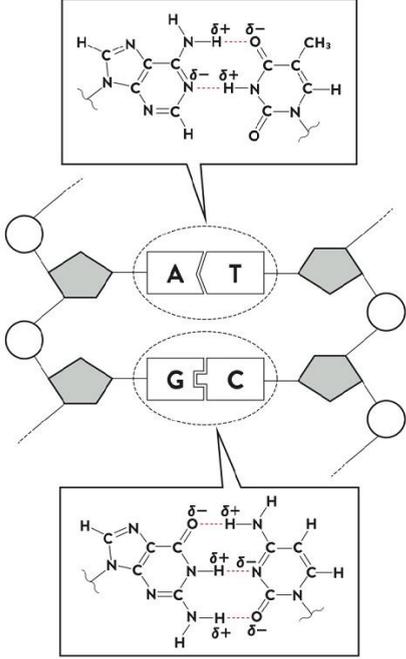


以下の通り表記に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを訂正してお詫び申し上げます。

| 該当刷ページ | 該当箇所 | 【誤】 | 【正】 |
|--------------|--------------------|---|---|
| 初版 23ページ | 6行目 | さらに | (「さらに」を削除) |
| 初版 25ページ | 下から4行目 | 元素 | 原子 |
| 初版 65ページ | 3~4行目 | これまで | 従来では |
| 初版 104ページ | 下から5行目 | イオンになったもの | イオンになった「水素イオン」 |
| 初版 121ページ | 7行目以降 | フラレーン | C ₆₀ |
| 初版 122ページ | ノーベル先生の 吹き出し(上) | 製品に合わせてC ₆₀ の 構造が変換されているんだ | C ₆₀ の構造が変換されている 場合もあるんだ |
| 初版 139ページ | 下から10行目以 降 | マクダイアミット | マクダイアミッド |
| 初版 186ページ | 下から14行目 | その数値は0から14の範囲で 規定されており、溶液が | その数値は一般的に、 0から14の範囲にあり、水溶液が |
| 初版 189ページ | 12行目 | ルシフェリン | ルシフェリンに相当するもの |
| 初版 194ページ | 2行目 | 構造 | 成分 |
| 初版 194ページ | 下から2行目 | と呼ばれる4つの分子 | の4種類 |
| 初版 198ページ | 図8.20 | 赤で示した部分(右の図参照)が、初版では点線が均一でなかったり、点線と原子との間に隙間が空きすぎたりしていました。 |  |
| 初版 202ページ | 下から4行目 | 配置 | 組み合わせ |

| | | | |
|--------------|-----------------|------------------------------------|---|
| 初版 211ページ | ノーベル先生の 吹き出し | GFPの構造の詳細を解析することにも成功しているんだよ(p.192) | p.192に示したGFP内部の変換について、その詳細を説明することにも成功しているんだよ |
| 初版 217ページ | 3行目 | その原子の集団 | 結合している原子や原子の集団 |
| 初版 221ページ | 3行目 | 分子AとBはエナンチオマー | 分子AとBは互いにエナンチオマー |
| 初版 227ページ | 図9.16 | (心拍数増加、収縮力向上) | (収縮力向上、拍出量増加) |
| 初版 228ページ | 下から4行目 | エナンチオマーの関係 | 互いにエナンチオマーの関係 |
| 初版 239ページ | 下から4行目 | 含まれて | 配置されて |
| 初版 241ページ | 3行目の後に 文章を挿入 | | 分子(4)と結合する円の図形は、分子(1)の炭素原子に直接結合するHIに相当します(このHIは、水素分子H ₂ に由来します)。 |
| 初版 246ページ | ノーベル先生の 吹き出し | デイビット | デイヴィット |